

第61期公パト合格記念撮影



クラブチームに所属している私の周囲では怪我が絶えない。特にここ数年は、目の前で遭遇することが多くなり、資格取得を目指すきっかけとなった。

日本赤十字の救急法基礎講習を駆け込み受講。養成講習会直前に安比高原パトロール隊で初めてアキヤを操作させてもらい、波乱の受検の幕開けでした。

検定会初日の理論テストは初めてのマークシート。しか

公パト受験
宮城県「オニウベスキー場」で開催
波乱の受検体験記
盛岡市スキー協会 土村 啓明

もマークが16問と250字以内の記述が1問。山をかけていない「スキー場管理者の責務について」は全滅。いうまでもなくその夜はヤケ酒。

2日目の実技では、ブルークボーゲンでターン数オーバー。ばれないように知らんぷりしてゴールで自信満々のポーズを決めてみる。搬送種目では運よく？バディは岩手から受験の阿部君。でも養成講習会のときから思っていたが、重かった。この夜も反省会と称してロープと三角巾を弄りながら合格祈願の前祝。

3日目。ロープ操作では、端部の長さが足りず減点しとくね」と言われて冷や汗。救急法では、三角巾で膝の保護をして周りを見たらみんなと逆の膝だった。

いたるところで様々な失敗を積み重ね、高畑講師から言われた「緊張しているとできることもできないよ」の言葉を思い出しながら、閉会式・合格発表のときが来た。番号がバラバラに呼ばれて、あれっ飛んだ？と一瞬思ったが無事合格。岩手から受験の3名が

PATO
岩手
協議会

No64号

事務局
〒029-4503
金ヶ崎町西根真析 152
日本スキーパトロール協議会
岩手県支部
http://www.geocities.jp/patokyoku_iwate/



全員無事合格することができました。

安比高原スキー場および養成講習での網張温泉スキー場のパトロール隊の皆様、養成講習会の講師の皆様、ありがとうございました。

これからは実践に伴う救助技術の習得はもろろのこ、身近なところから傷害予防や安全対策の普及に努めていきたいと思います。

公認スキーパトロール
合格者(61期)
◆上路 弘志 (葛巻町スキー協会)
◆土村 啓明 (盛岡市スキー協会)
◆阿部 拓生 (紫波町スキー協会)

令和4年度総会議決結果

書面表決書提出 50 通、全て賛成
(総会員数 77 名)

規約第 10 条 4 項により、総会が成立し、以下の通り議決が成立しました。

記

- 議題 1 令和 3 年度事業報告
議題 2 令和 4 年度事業計画(案)
議題 3 役員の改選

令和4年～令和5年県支部役員

役 職	氏 名	所属/名称
名誉顧問	松ノ木 敏 雄	県連盟教育本部長
顧 問	佐 藤 安 美	北上市スキー協会
〃	遠 藤 正	盛岡市スキー協会
会 長	青名畑 幸 彦	葛巻町スキー協会 (地区幹事)
副 会 長	葛 西 敏 史	一戸町スキー協会 (ドクターパト)
〃	齋 藤 孝	水沢スキー協会
理 事 長	西 館 忍	一戸町スキー協会
副理事長	菅 原 健	金ヶ崎町スキー協会 (事務局長)
理 事	和 野 正 章	久慈市スキー協会
〃	高 橋 徹	江刺スキー協会
〃	別 部 俊 一	盛岡市スキー協会
監 事	千 葉 芳 胤	水沢スキー協会
〃	千 葉 寿 夫	衣川スキー協会

宜しくお願いします!!



一昨年準指導員に合格し、理論で公パトの意義を再確認し受検を検討しました。

まず葛巻町スキー協会と新規所属の平庭高原スキー学校に相談。パトロールの大先輩の方にも相談し、公認パト検

定会が東北開催の今回受検する事に。

今初冬、平庭パト隊へ正式に受検を伝え練習開始。ボート搬送や救急法、ロープワークなど操作の基礎を作って頂きました。

第1回養成講習会網張温泉スキー場。ここで急斜面での真下切替搬送に問題発覚、これはギリギリまで苦しむ事に。途中無人のボートでもダメでした。及第点到達は検定1週間前、最後の自主練習日、この日は無人のボートでもダメならばと、ボートも無しの「シャドー搬送？」で根底から見直す作戦でした。網張の課題の急斜面に立ち、ストック2本を前に突き出しアキヤのハンドルに見立て、繰り返し練習。やっとコツを掴み、今度はグレンデ内のあちこ

定会が東北開催の今回受検する事に。

今初冬、平庭パト隊へ正式に受検を伝え練習開始。ボート搬送や救急法、ロープワークなど操作の基礎を作って頂きました。

第1回養成講習会網張温泉スキー場。ここで急斜面での真下切替搬送に問題発覚、これはギリギリまで苦しむ事に。途中無人のボートでもダメでした。及第点到達は検定1週間前、最後の自主練習日、この日は無人のボートでもダメならばと、ボートも無しの「シャドー搬送？」で根底から見直す作戦でした。網張の課題の急斜面に立ち、ストック2本を前に突き出しアキヤのハンドルに見立て、繰り返し練習。やっとコツを掴み、今度はグレンデ内のあちこ

公パト受験
七転八起
葛巻町スキー協会 上路 弘志

ちらのコースでシャドー練習。14時頃、網張パト隊の方からふいに声をかけられ、そろそろボート引いてみるか？」ずっと見て頂いていたようでした。恐縮ながらお願いしました。格段に良くなったよ、これなら大丈夫」後で分かったのですが元技術員の方でした。

検定本番では 搬送しているのは患者さんだよ」と常々高畑技術員からも指摘されていた事を忘れない為に、ずっとバディに話しかけながら搬送しました。かえって緊張感も薄れ実技に集中出来ました。いろいろな様々な事が沢山ありましたが、受検して良かったです。

高畑技術員はじめご指導頂いた皆様、多くの良き先輩、友人・スキー仲間の皆様、指導や応援本当にありがとうございました。

そして励まし支えてくれ、全員合格できた岩手からの良き同期受検者の二人に巡り合えた事に、心より感謝致します。